Information

交通事故速報数

第　4　号
平成29年4月3日
交通企画課

交通事故死者数42人（前年同期比+1人）
平成29年3月末現在

夜間における死亡事故増加！！

交通事故死者42人のうち、夜間（18時～６時）は22人!!
前年同期比+５人と増加しています。
夜間の22人中、「人対車両」が13人（構成率59.1%）と半数以上を占めています。
うち、車から見た歩行者の横断方向は「右からの横断」が９人と約７割を占めております。

運転者は、
- ○　早めのライト点灯と安全運転！
- ○　ライトは原則ハイビーム!!
  ロービームは、右からの歩行者等の発見遅れにつながります。
  ※　前車がある場合や反対車線の車とのすれ違い時はロービームにしましょう！

歩行者は、
- ○　明るい色の服装で外出しましょう！
- ○　夜光反射材を身に着けましょう！

「春の全国交通安全運動」の実施!!

運動期間

4月6日(木)から4月15日(土)まで

運動の基本

子供と高齢者の交通事故防止

運動重点

① 歩行中・自転車乗用中の交通事故防止（自転車については、特に「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」及び自転車安全利用五則の周知徹底）
② 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
③ 飲酒運転の根絶
④ 夕暮れ時の交通事故防止

交通死亡事故発生状況 （平成 29年3月末、速報数）

1 交通事故発生状況

区分 / 年別	3 月 中				3 月 末			
	人身事故	死 者	傷 者	重 傷	人身事故	死 者	傷 者	重 傷
2 9 年	2,387	16	2,916	138	6,463	42	7,953	432
2 8 年	2,193	14	2,729	185	6,376	41	7,855	557
増 減 数	+194	+2	+187	−47	+87	+1	+98	−125
増 減 率	+8.8	+14.3	+6.9	−25.4	+1.4	+2.4	+1.2	−22.4

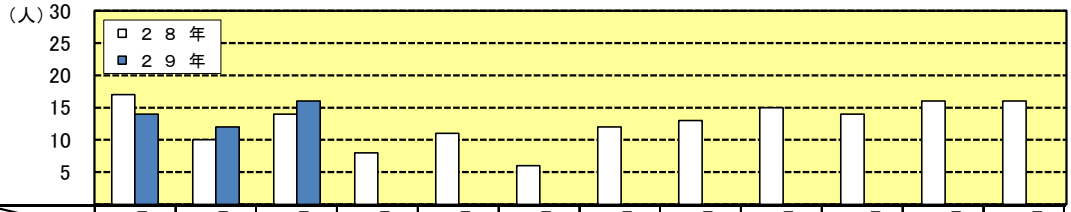
2 都道府県別死者数の多い順

順 位	1	2	3	3	5	6	6	8	9	10	全 国
都道府県	埼 玉	愛 知	千 葉	兵 庫	茨 城	静 岡	大 阪	福 岡	東 京	神奈川	
死 者 数	48	47	42	42	40	38	38	36	35	33	873
増 減 数	+12	−1	+2	+1	−7	+1	+1	+2	−4	+4	−58
増 減 率	+33.3	−2.1	+5.0	+2.4	−14.9	+2.7	+2.7	+5.9	−10.3	+13.8	−6.2

3 都道府県別高齢者の死者数の多い順

順 位	1	2	2	2	5	6	7	7	9	9	全 国
都道府県	埼 玉	静 岡	兵 庫	愛 知	茨 城	栃 木	神奈川	福 岡	熊 本	東 京	
高齢者の死者数	28	22	22	22	20	19	18	18	15	15	467
増 減 数	+6	−1	−2	−8	−2	+10	+4	−5	+4	±0	−59
増 減 率	+27.3	−4.3	−8.3	−26.7	−9.1	+111.1	+28.6	−21.7	+36.4	0.0	−11.2

4 月別死者数

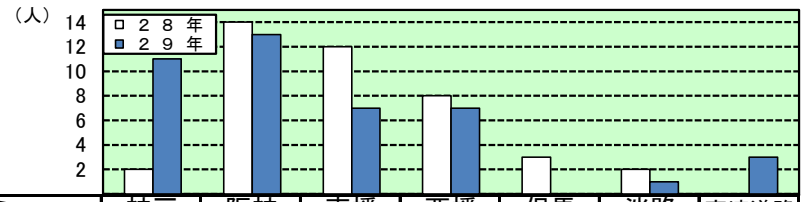


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2 9 年	14	12	16									
2 8 年	17	10	14	8	11	6	12	13	15	14	16	16
増 減	−3	+2	+2									
3年間平均	17.0	11.7	12.0	10.0	14.7	9.0	13.3	11.7	15.7	15.3	19.0	19.0

※ 3年間平均は平成26年～28年の月別死者数の平均である。

5 交通死亡事故の特徴（死者数、前年同期比）

（1）地区

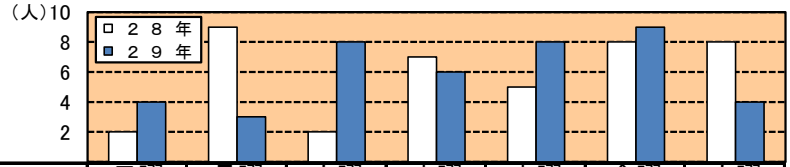


	神戸	阪神	東播	西播	但馬	淡路	高速道路
2 9 年	11	13	7	7	0	1	3
2 8 年	2	14	12	8	3	2	0
増 減 数	+9	−1	−5	−1	−3	−1	+3

○ 阪神が13人と最も多く、次いで神戸が11人、東播と西播が７人、高速道路が３人、淡路が１人となっている。

○ 神戸が前年同期比プラス９人、高速道路が同プラス３人と増加している。

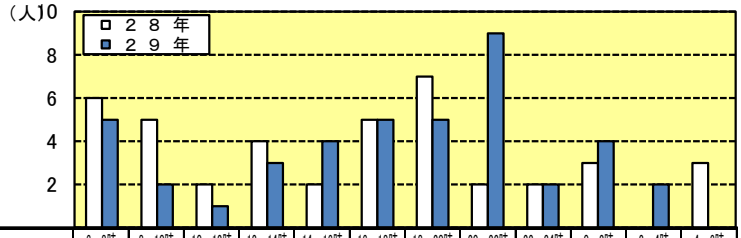
（2）曜日別



	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
2 9 年	4	3	8	6	8	9	4
2 8 年	2	9	2	7	5	8	8
増 減 数	+2	−6	+6	−1	+3	+1	−4

○ 金曜日が９人と最も多く、次いで火曜日と木曜日が８人、水曜日が６人、日曜日と土曜日が４人、月曜日が３人となっている。

（３）時間別



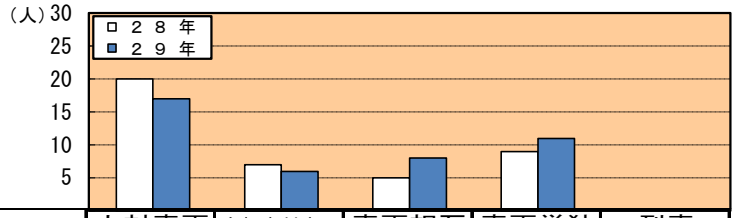
	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	0～2時	2～4時	4～6時
２９年	5	2	1	3	4	5	5	9	2	4	2	0
２８年	6	5	2	4	2	5	7	2	2	3	0	3
増減数	-1	-3	-1	-1	+2	±0	-2	+7	±0	+1	+2	-3

○　昼間が20人(47.6%)
　　夜間が22人(52.4%)

○　時間帯別では、20～22時が９人と最も多く、次いで６～８時と16～18時と18～20時が５人の順となっている。

※　昼間　６～18時まで
　　夜間　18～６時まで

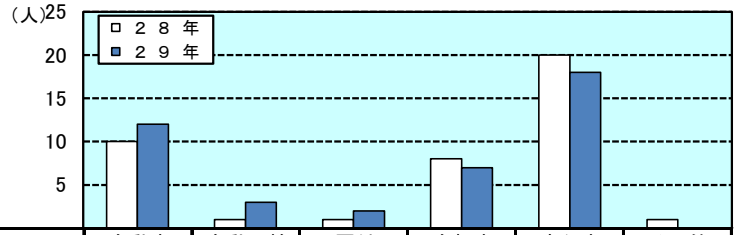
（４）事故類型別



	人対車両	自転車対車両	車両相互	車両単独	列車
２９年	17	6	8	11	0
２８年	20	7	5	9	0
増減数	−3	−1	+3	+2	±0

○　「人対車両」による死者が17人と最も多く、次いで「車両単独」が11人、「車両相互」が８人、「自転車対車両」が６人となっている。

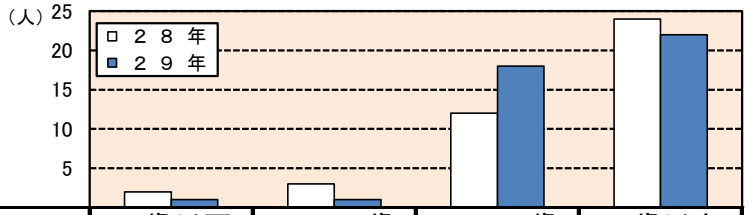
（５）状態別



	自動車	自動二輪	原付	自転車	歩行者	その他
２９年	12	3	2	7	18	0
２８年	10	1	1	8	20	1
増減数	+2	+2	+1	−1	−2	−1

○　歩行者が18人と最も多く、次いで自動車が12人、自転車が７人、自動二輪が３人、原付が２人となっている。

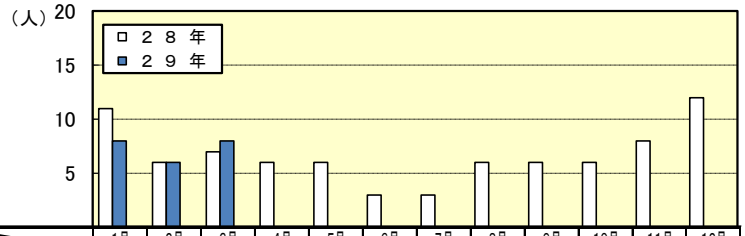
（６）年齢層



	15歳以下	16～24歳	25～64歳	65歳以上
２９年	1	1	18	22
２８年	2	3	12	24
増減数	−1	−2	+6	−2

○　65歳以上（高齢者）が22人と最も多く、次いで25～64歳が18人、15歳以下と16～24歳が１人となっている。

（７）月別高齢者の死者



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
２９年	8	6	8									
２８年	11	6	7	6	6	3	3	6	6	6	8	12
増減数	-3	±0	+1									

○　３月中の高齢者の死者は８人で、前年同期比＋１人となっている。